



# THE Y'S MEN'S CLUB OF TSU

TSU Y'S MEN'S CLUB 231-12 KOUMEI TSU MIE 514-0006  
CHARTERED 1992 TEL 059-227-2392 FAX 059-227-2392



"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT!"

## 2015年11月

### 主題

国際会長 「信念のあるミッション（使命・目標）」  
アジア地域会長 「愛をもって奉仕しよう」  
西日本区理事 「あなたならできる！きっとできる」  
中部部長 「踏み出そう 次の一步のための一步を」  
クラブ会長 「ワイズで学び ワイズで奉仕」

会長 亀野 貞  
副会長 千賀直道  
書記 薦田正男  
会計 佐脇康弘  
直前会長 薦田正男

### 今月の聖句

「明日のことまで思い悩むな。明日の事は明日自らが思いなやむ。」

マタイによる福音書 6章 34節

### 11月例会案内

日時 11月13日(金) 19時～  
会場 アスト津 3F 交流広場  
司会 薦田正男君  
開会点鐘  
ワイズソング斉唱  
会長挨拶  
ゲスト紹介  
報告事項  
その他  
閉会点鐘

会長

\*前期会費の納入をして下さい。会計より



野菊  
遠い山から 吹いてくる  
こ寒い風に ゆれながら  
けだかくきよく  
におうはな  
きれいな野菊  
うすむらさきよ

野菊

在籍	第1例会	第2例会	メイクアップ	出席率	ファンド
5名	3名			60%	

時間厳守・親睦・奉仕

2015年10月17日 ばんこの里会館  
YMCAのコカリナグループの演奏会が四日市クラブの主催で開催されました。大勢の地域の人たちを招いて楽しい一時を過ごしました。



コカリナは長野オリンピックの際伐採された木から制作され、会場の子供たちが演奏し知られるようになりました。自然環境を守るシンボリックな楽器として注目をあびています。

#### 中部の行事予定

11月28日(土) 13時～ 南山幼稚園  
第2回中部評議会・中部EMC200推進委員会  
YYフォーラム・名古屋YMCA大会同時開催  
亀野会長・薦田委員が参加予定

#### 津クラブ予定

11月8日(日) 9:50 JR四日市駅集合  
YMCAチャリティーウォーク協賛  
四日市港周辺まで歩きます。四日市クラブも参加します  
服装はウォーキングに適したものを着用

11月13日(金) クラブ例会 曜日が変更になっています。

12月10日(木) 19時～ 白子駅前 「津弥や」  
クリスマス例会 四日市クラブと合同開催  
会費 4000円 会員は3000円

全日本大学駅伝が11月1日(日)



津駅前

最近になってテレビの番組も替わりクイズ番組が多くなったように思う。国語の問題は「いつやるの今でしょ」の林先生が登場。正しい日本語を知っているようで知らないことが多いのに驚きます。字を書くことが少なくワープロに頼ってしまう昨今、読めても書けないことが多い。歳のせいでは無い。物忘れと片付けることにもできず辞書を頼りに学ぶことになる。辞書の活字が小さくレンズを使わないと読めない。皆さんは如何ですか？ 日本人ですからせめて母国語を正しく使えるようにしたいですね。

季節も「なべもの」がこいしくなりましたね。「チリ鍋」の「ちり」は、明治に入ってできた言葉で、魚の切り身を煮立った鍋に入れると、ちりちりと身が縮むところから、こう呼ばれるようになった。明治時代に来日した外国人が生臭くて刺し身がたべられない。そこで、刺し身をちょっと熱湯につけて、身が縮んだのをポン酢で食べた。これが「チリ鍋」の始まりです。サカナは魚に限らない？もともと魚という字は、サカナといわず、ウオと読んだ。古事記などではマナと読み、マナ板、マナバンなどの言葉が残っている。マナ板は、初めは魚や鳥肉を料理するもので、野菜類は「そな板(蔬菜板)」と呼び区別した。のちに魚菜用ともに「まな板」と呼ぶようになった。買ってくるまな板には野菜用は蕪の印、魚肉用は魚の印がついていますね。サカナは漢字で「肴」と書き、酒菜(さかな)の意味です。菜というのは野菜の意味でなく、添え物、つまり酒のオカズのことです。「添」(ソエ)と書いたが、この「添」の字が「菜」の字に似ているところから書き間違ったもので、その後、酒やご飯に添えて出すオカズを総称して「菜」「な」というようになった。なかでも魚は、酒菜になることが多かったことから、魚をサカナと呼ぶようになった。そして酒を飲む時のオカズはとくに「酒のさかな」といっている。言葉の歴史を知ること酒の肴になりますかね。熱燗の恋しくなる季節です飲みすぎはやめましょう。ほどほどに！

